（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童デイサービスわかば２			
○保護者評価実施期間	2024年4月1日	～	2025年3月31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	33	（回答者数）	24
○従業者評価実施期間	2024年4月1日	～	2025年3月31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	14	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土日祝を含むすべての曜日を開所し、車を多く保有して、多能な利用ニーズに対応している。バックヤードを利用して、事業所のすぐ裏に車を停車することができる。	車での移動も含めて様々な公園等に行き、一日保育にも対応できる取り組みを行っている。	体育館、あいほうぷ、図書館、博物館、プール等の公共施設を利用した支援を行っている。長期休みには遠足等の行事も企画している。体力のある利用者に対してはハイキングも企画している。
2	利用者に対する職員数を多く配置し、利用者の多様な障がい特性に対応できるようにしている。	外遊びと屋内での取り組みを組み合わせて、安全に配慮しなから多様な遊びを通して様々な経験ができるよう工夫した取り組みを行っている。	音楽あそび、ヨガ、ダンス、キッズエアロ、エアートランポリン等の取り組みも取り入れている。
3	２階建て構造を利用して、保育スペースを広く取ることができ、グループに分かれて支援することができる。	他害等の行動障がいを有する利用者にも安全に配慮しながら対応できる支援を行い、年齢や体格、障がい特性に応じた支援ができる対応を行っている。	広いスペースを利用して、ヨガ、ダンス、エアロ等室内での遊びや支援の幅を広げている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携があまりできていない。	重度の障がいを有する利用者を多く受け入れているため、地域と連携しやすい取り組みを取り入れることが課題となっている。	地域に開かれた取り組みを企画しするために試行錯誤を行い、実践に取り入れながら、段階を追って連携する幅を広げていく。地域自立支援協議会への参加も検討する。
2	若い男性職員がいない。	給与面やPR面で課題がある。	これまで学生アルバイトを多く採用していた時期もあった。コロナ禍でそれも停滞しているが、学生アルバイトの求人・採用も検討する。
3	駅から徒歩10分かかるため、保護者の送迎には車が必要となる。	基本的に車での送迎体制を整えるために、車の台数維持と運転手の確保を継続的に行っていく。	送迎ルートや送迎方法を検討し、様々なルートに対応できるようにする。